

在宅避難という選択があります

早稲田学区では“分散避難※”を進めていますが、災害が発生もしくは災害が起こりそうな時でも自宅の安全が確保される場合は「在宅避難」が基本となります。

※分散避難については、防災通信No.2で解説しています。

●在宅避難とは？

災害が発生した時、公的な避難所や私的な避難先を含めて移動による避難を行わず、在宅での避難を選ぶことをいいます。

マンションなどは、土砂災害や台風などで家屋が倒壊・破損する危険性が低く、避難所に行かずに自宅にとどまる方が安全な場合があります。



●避難所の収容には限界があります

早稲田学区の人口は、約6,000人弱。一方で、集会所・公民館・中学校の公的な避難所に収容できる人数は最大で約1,000人ぐらいです。

よって、約8割の人は私的な避難先を探すか、在宅避難・車中泊などの選択をする必要があります。



●在宅避難のメリット

- ◆避難先への移動中に被災する危険性がありません
- ◆自宅なのでプライバシーを守った避難生活が送れます
- ◆住みなれた環境なのでストレスが少ない生活ができます
- ◆避難して不在中に空き巣などの被害発生を防げます



※本資料の一部は、横浜市港南区作成資料の一部を使用しています。

在宅避難をしてはいけない人がいます

以下の住宅環境の方は、在宅避難をしないようにしましょう。

大雨の時

- ◇土砂災害警戒区域内にある一戸建て、もしくはマンションの1～2階に住んでいる方
→ 土石流やがけ崩れなどにより被災する恐れがあります

地震の時

- ◇昭和56年以前に建てられた一戸建てに住んでいる方
→ 地震により建物が倒壊する危険性が高い方です